

# 鎮魂を極むる禊祓の精神

其三、神人一体なる呼吸法の体験

伊吹伊吸の神儀に入る基本の姿勢は、静座して右の手の親指を除く四本の指を左手で握り、丹田に肩の力を抜いて置く。先ず静かに息を口から入れて吐き出し呼吸する準備体制を整える。第一段階は、鼻より静かに息を吸い込み、同時に手を組んだまま上へ上げる。これが瀧澤津比咩神の動きである。次に吸い込んだ息を止め、上げた手を左右に降し、肩の高さで止める。これが速開津比咩神の動きである。次に口をふの字に開き、息をふーと長く腹の中から息を吐き出していく。同時に両手を円く描きながら降ろし、基本の姿勢に戻る。これが気吹戸三神の動きである。その吹き出した息が発散して開き、自然の靈氣に同化して元素の本体なる靈現に還元転化していく。そのとき、体内の汚穢を残らず吹き出すため、口を大きく開き腹いっぱい息を入れて吐き出す。これが速佐須良比咩神の動きである。この大祓四柱の神の動きによって身体の浄化、善化が出来るのである。そしてこの伊吹伊吸の体験を重ねていく中で、自然環境と自らの身体とが不可分一体であることを体験し、神人一体なる自らの呼吸を自覚し得るのである。

又大祓四柱の神の動きは大自然の到る処で見られる。例へば、排泄物や地に落ちた枯葉などが、時とともに固体から液体へと変化し、さらに気体から各元素に分散し、新たな生命要素へと転化されていく。これは禍津毘を直靈に還元転化していく、大祓四柱の神の動きであり、これを体験体得現するの伊吹法即ち神人一体なる呼吸法である。

其四、九柱の祓神と一体となる

禊祓の精神はこの場所、唯だ一人だけを禊祓するのではなく、小さくても日本全国広く云へば宇宙の禊祓である。天皇陛下下の禊祓は日本国全体の根本中心の禊祓なるが故に、日本国全体、国土全体の禊祓であり大祓である。日本国全体及び宇宙を統一調和に帰するためには、これを主宰する中心、大直靈の御動きが絶対必須である。大直靈とは天之御中主神であり、その直系延長神にまします皇祖天照大御神が地球世界及び日本国全体を統一調和に帰せしむる大直靈であらせられるのである。

この大直靈なる皇祖天照大御神の御出現遊ばされたとき、宇宙万有の禍津毘を祓い直靈に還元し、これらの直靈が不二一体となって貢ぐ(靈進ぐ)べき大直靈の御出現を御迎へしたのである。これが禊祓の起源と云われる筑紫の日向の橋の小門の阿波岐原に於て行われた伊邪那岐神の禊祓の神儀である。このとき成りませる九柱の神も祓の神である。即ち禊祓して先ず現れた神が八十禍津毘神、大禍津毘神、次にこれを祓う神、神直靈神、大直靈神が現れ、次に絶大なる稜威(靈出づ)の動きを表わす伊豆能売神が現れ、次に綿津見神(海の神、渡る、横を祓う)と筒之男命(住吉神、衝く、縦を祓う)とが、底津、中津、上津と云う三段階にわたって余す所なく禊祓をなし、禍津毘を直靈に還元転化したのである。この九柱の神(禍津毘、直靈を一神とする)による水の底から天を極むる縦横無霊に禍津毘を祓い、直靈に還元転化する禊祓によって、統一調和作用の御本源なる大直靈即ち皇祖天照大御神の御出現を仰ぎ得たのである。而してこの九柱の祓神も天地自然到る処で働いておられ、勿論我々の体内に於ても働いておられるのである。従ってこの九柱の神の働きや内容を念じつつ、伊吹法によって九柱の神との一体の境地を開くことを要する。

其五、鎮魂八神に同化し、天皇陛下と不二一体となる

更に奥深く進んで鎮魂八神とも一体となり、最後に大直靈に帰結する処まで徹底した禊祓をせねばならぬ。先づ「天地ノ初発ノ時、高天原ニ成リマセル神ノ御名八天之御中主神、次ニ高皇產靈神、次ニ神皇產靈神」なる言葉を中心に念じ、伊吹法により息を吸い込むとき、神皇產靈神の動きと一体となり、息を吹き出すとき、高皇產靈神の動きと一体となり、次に生命の単位要素を生む生魂(イクムスビ)の動きと一体となり、次に生命要素を集合し充実していく足魂(タルムスビ)の動きと一体となり、次にこれらの生命要素が根本と抹梢、中心と分派に組織され、分派末梢が中心根本に帰一一体となって統一調和されていく玉留魂(タマツメムスビ)の動きと一体となり、次に神聖なる環境が現れる大宮乃壳(オオミヤノメ)の動きと一体となり、次に万有を生み育てる豊かな環境が現れる大食津神(オオミケツカミ)の動きと一体となり、次にすべてのものの分位が定まり、秩序統一され、その善悪正邪が明かとなる環境が現れる事代主(コトシロヌシ)の動きと一体となる。そして最後に大直靈なる、天皇陛下下の御靈に同化し不二一体の境地を開くのである。これは伊吹法によって祓いに徹し、禊(靈濯ぎ)によって神人不二一体の鎮魂極意の境地を開くのである。

